

「下関沿岸に出現するクラゲたち」

独立行政法人 水産大学校
生物生産学科 教授 上野俊士郎

「くらげ」はゼラチン質をした動物プランクトンの総称です。刺胞動物，有櫛動物，軟体動物や脊索動物などが含まれ，下関沿岸には 100 種前後出現するようです。

このうち刺胞動物が約半数の 50 種以上を占めます。ミズクラゲ，アカクラゲやアンドンクラゲなどがよく知られていますが，これらは大型のクラゲで，10 数種程度しか出現せず，大部分は 2cm 以下の小型のヒドロ虫類（ヒドロクラゲ類）です。

10 月の下関沿岸には，刺胞動物のギンカクラゲ，アンドンクラゲ，ミズクラゲやエチゼンクラゲなど，有櫛動物のカブトクラゲ，ツノクラゲ，ウリクラゲなどがここ数年間に目立ってみられています。

今回はアンドンクラゲとミズクラゲを採集して，皆さんに観察してもらいましょう。また，私の研究室で飼育中のポリプから遊離したエフィラ幼生などの幼体ミズクラゲ，ヤクチクラゲも展示しました。

そんな小さいクラゲたちをワイングラス
に浮かべては如何でしょ？

